やこう

令和8年10月30日
横浜市立矢向小学校
ホームページはこちらからどうぞ→
学校だより　令和8年度11月号　www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yako/

共に力を尽くして

校長　沼田　留美子

体育館から元気な声が響いてきます。紅組、白組の応援団を中心に2日間に分けて、全校競技の綱引きに際し、どのようにみんなで力を合わせていくか伝達、共有する集会が行われました。これは今年初めて取り組むことです。子どもたちによる、子どもたちのための、子どもたちの運動会にしていこうと、子どもたちに委ねる場を増やしています。最後には全員で「ゴーゴーゴー」を斉唱し、それぞれの組の士気を高めていました。応援団は自ら立候補した人たちによって構成されています。それぞれの組の勝利と健闘を目指して、声を張って、体を大きく動かして、毎日のように練習をしています。

応援団だけでなく、当日の仕事も子どもたちの立候補により運営されています。「みんなで力を合わせて良い運動会にしよう。」、「みんなで悔いの残らない運動会にしよう。」という心意気で共に力を発揮しています。また、演技の練習にも力が入っています。指導している教師と共に音楽に合わせて、リズムに乗って、自然と笑顔で、時には真剣に体を動かしている様子が見られます。元気に、美しく、力強く、心を合わせて汗をかき、みんなでやるからこそできる演技をしている姿は、誰もが主役で、見ていて心から応援したくなります。今年のメンバーだからこそできることを更新していくことこそが成長です。

今年もまた、江ケ崎町の皆様のご厚意とご協力により、会場として新鶴見公園のグラウンドを貸していただき、運動会を行えることになりました。地域の皆様には、矢向小学校の子どもたちのために時間を空けてくださっていることにいつも感謝しております。

限られた場所で行える最大限の運動会をと、今年も教職員一同、知恵を絞り、改善を重ねながら準備をしてきました。運動会は体育の授業のカリキュラムに沿った内容で行われています。教職員は早朝から練習のためにグラウンドの準備をしたり、夜遅くまでグラウンドの目印のくいの打ち込みをしたり、物品を調達したりと駆け回ってきました。PTAやおやじの会の皆様などのボランティアも、子どもたちのためにと会場の案内、子どもの安全見守り、観客への呼びかけなど各所でご活躍いただいています。新しい校庭ができるまでの間、前例にとらわれず、できないことを悔やむのではなく、できることを生かしたプログラムに、どうかご理解、ご協力いただけますようお願いいたします。

子どもたちの元気を生み続けるためには子どもを支える大人も元気で活躍できることが欠かせません。サービスを受けるだけではなく、自分も主体的な参画者として、共に子どもを育てる大人の一人として、学校だけでなく、保護者、地域の皆様も一緒に、共に力を出し合い、時には悩み、共に感動を分かち合いながら、学校づくりを協働できたら、今以上に子どもも大人も元気な、明日が楽しみな矢向小学校に成長していくはずです。

子どもの頑張る真剣な瞳、豊かな表情、元気な声、力強くのびやかな動きを楽しみに、家庭での励ましと共に、みんなで創る運動会にしていきましょう。